

◆ 今週のコメント

- ・ カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症の報告が2例(50歳代男性, 80歳代女性)があります。
- ・ クロイツフェルト・ヤコブ病の報告が1例(70歳代女性)あります。症状は進行性認知症・ミオクローヌス・錐体路症状・錐体外路症状・小脳症状・記憶障害・精神・知能障害・筋強剛で推定感染地域及び推定感染経路は不明です。本疾患の届出基準や届出に必要な要件等については、下記のホームページを御覧ください。
○厚生労働省「クロイツフェルト・ヤコブ病 感染症法に基づく医師及び獣医師の届出について」
<http://www.mhlw.go.jp/bunya/kenkou/kekkaku-kansenshou11/01-05-05.html>
- ・ 侵襲性インフルエンザ菌感染症の報告が1例(60歳代女性)あり、症状は発熱、菌血症です。
- ・ 侵襲性肺炎球菌感染症の報告が4例(60歳代及び70歳代男性, 70歳代及び80歳代女性)あります。本年の累積報告数は9例となっています。

◆ 今週のトピックス: <インフルエンザ>

- ・ 京都市におけるインフルエンザの定点当たり報告数は7.25となり、前週(2.18)の3.3倍に増加しました。詳細をトピックスに掲載しています。

◆ 発生状況

全数把握の感染症

- ・ 二類:結核 2例(肺結核 2例, その他結核 なし, 潜在性結核感染者 なし)うち喀痰塗抹陽性 1例
【1月以降の累積報告数 16例(肺結核 12例, その他結核 1例, 潜在性結核感染者 3例)うち喀痰塗抹陽性 6例】
- ・ 五類:カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症 2例【1月以降の累積報告数 5例】
- ・ 五類:クロイツフェルト・ヤコブ病(古典型) 1例【1月以降の累積報告数 1例】
- ・ 五類:侵襲性インフルエンザ菌感染症 1例【1月以降の累積報告数 1例】
- ・ 五類:侵襲性肺炎球菌感染症 4例(第2週追加分を含む)【1月以降の累積報告数 9例】

定点把握の主な感染症

(市内定点数 インフルエンザ定点68, 小児科定点41, 眼科定点10, 基幹定点1)

定点	感染症名	定点当たり報告数	報告数
インフルエンザ*	インフルエンザ	7.25	493
小児科 (降順5位まで)	① 感染性胃腸炎	8.51	349
	② A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	1.39	57
	③ 伝染性紅斑	0.61	25
	④ 水痘	0.39	16
	⑤ 咽頭結膜熱	0.29	12
	⑤ 流行性耳下腺炎	0.29	12
眼科	流行性角結膜炎	0.10	1

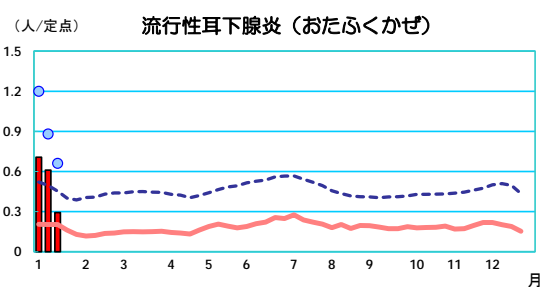
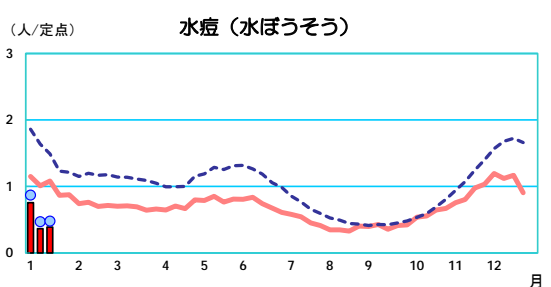
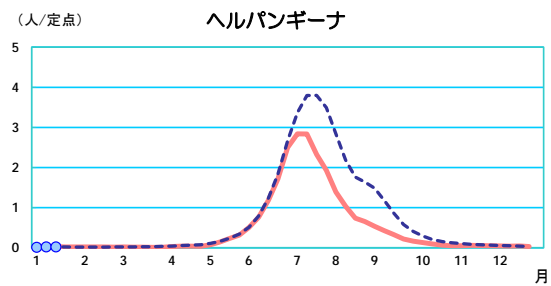
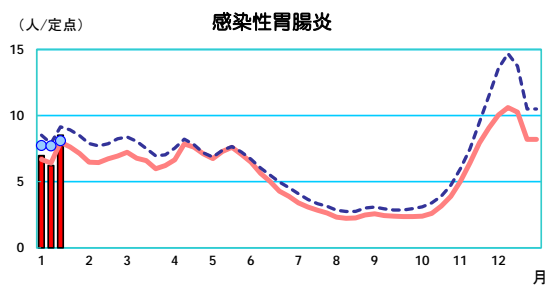
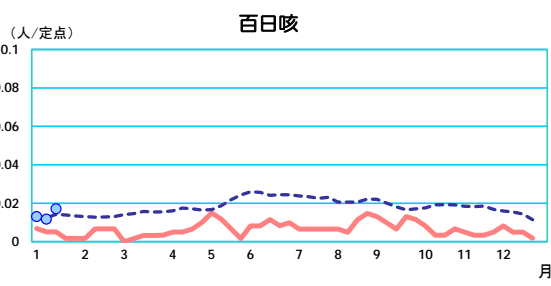
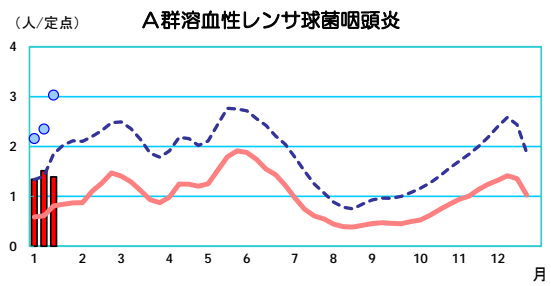
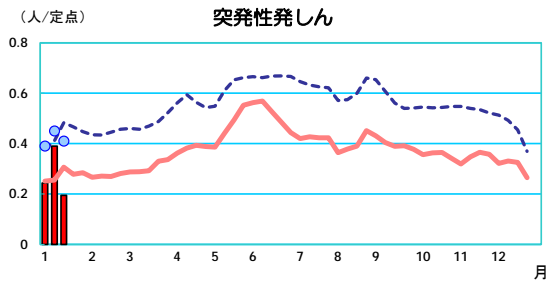
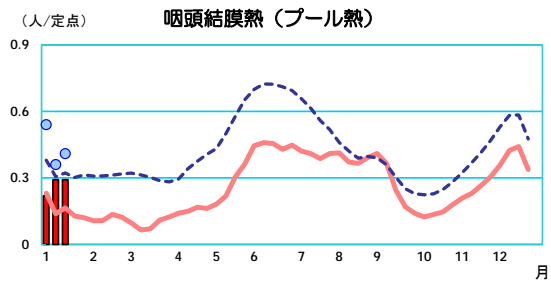
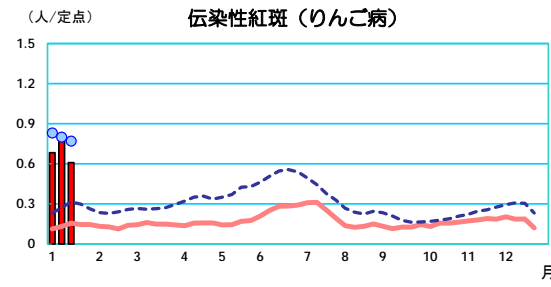
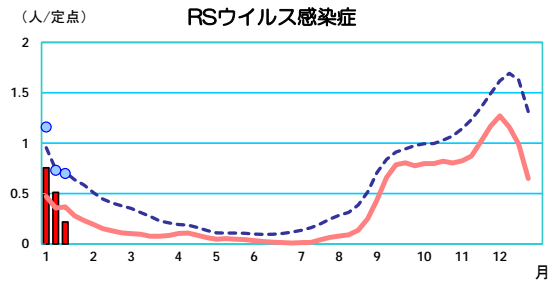
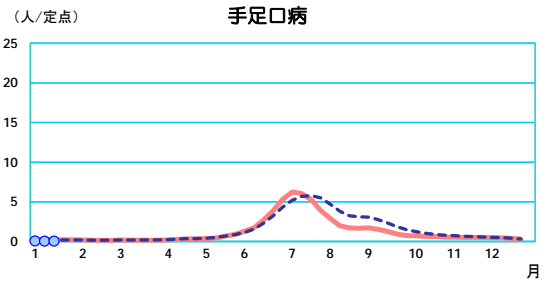
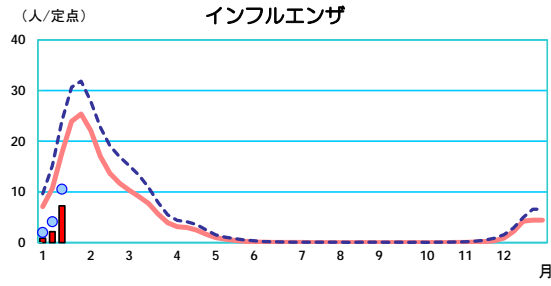
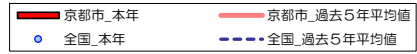
【次ページ以降の主な内容】

発生状況の概況グラフ / 今週のトピックス: <インフルエンザ>

付表(疾病, 行政区別報告数 / 年齢階級, 疾病別報告数 / 週, 疾病別報告数)

(注) 京都市のデータは、平成28年1月28日現在の報告数で、全国の還元データと若干異なる場合があります。
また、本情報での患者数は、届出医療機関所在地での集計で、患者の住所を示すものではありません。

インフルエンザ及び小児感染症の疾病別推移グラフ（平成28年）



第3週(1月18日～1月24日)トピックス: <インフルエンザ>

京都市及び全国の発生動向

京都市におけるインフルエンザの定点当たり報告数は7.25となり、前週(2.18)の3.3倍に増加しました(図1)。今シーズンは昨シーズンに比べ流行期入りが遅いですが(図2)、報告数が第1週以降急増しています。全国の定点当たり報告数は10.56となり、全国的にも報告数が増加しています(図3)。都道府県別では、全47都道府県で前週の報告数よりも増加し、17の都道府県で定点当たり報告数が「10」を超えています(図3)。本市においても患者数はさらに増加しピークを迎えるとみられることから、今後の発生動向に注意が必要です。

症状及び感染経路

インフルエンザは、インフルエンザウイルスを病原体とする急性の呼吸器感染症です。主な感染経路は咳、くしゃみ、会話等による飛沫感染で、他に手指を介した接触感染もあります。感染後、発熱、頭痛、全身倦怠感、筋肉痛・関節痛などが出現し、鼻水・咳などの呼吸器症状が続きます。いわゆる「かぜ」と比べて全身症状が強いことが特徴です。小児ではまれに急性脳症を、高齢者や免疫力の低下している者では肺炎を併い重症になることがあります。

インフルエンザ予防のために

- マスクの着用や咳エチケットを心掛けましょう。
- 流水、石鹸による手洗いを励行しましょう。



図1 京都市及び全国の定点当たり報告数の推移

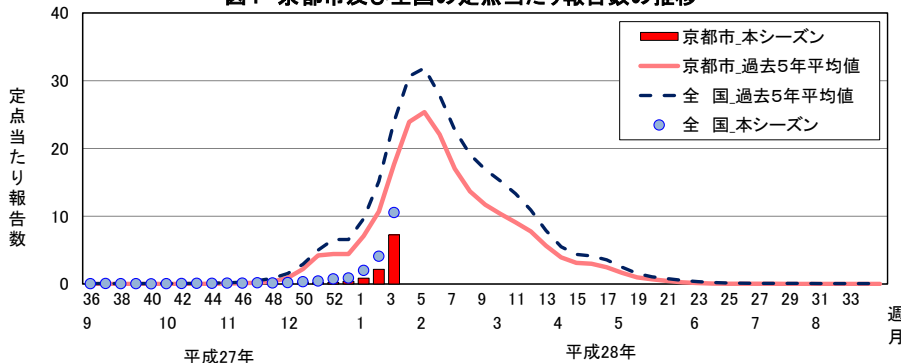


図2 過去5年間の報告数の推移(京都市)

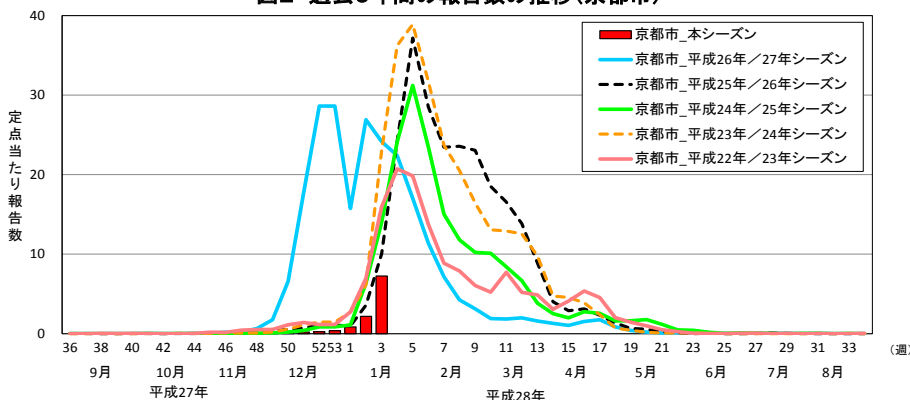
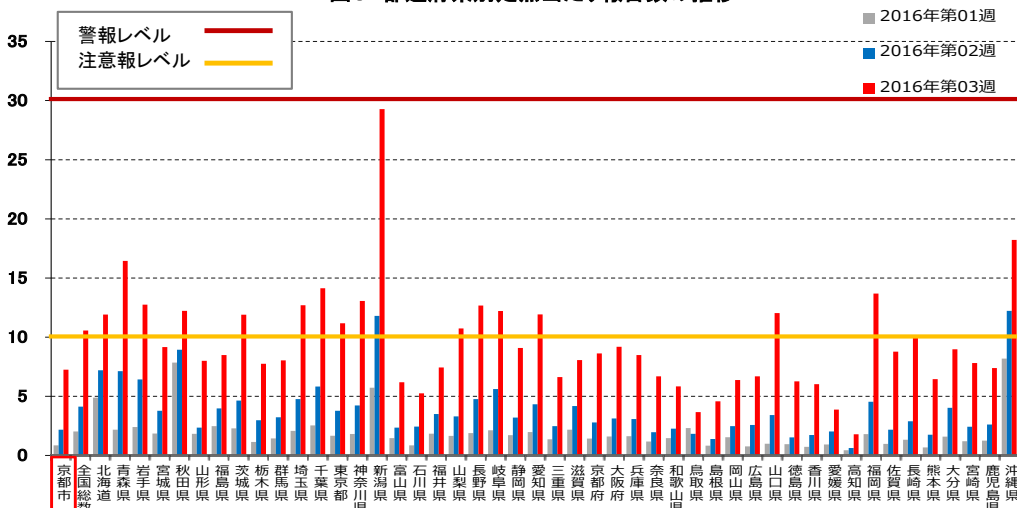


図3 都道府県別定点当たり報告数の推移



T3201

京都市感染症発生動向調査情報

集計対象:平成28年第3週

疾病,行政区別報告数

平成28年1月18日～平成28年1月24日

データ入手日:平成28年1月28日

	インフルエンザ(※1)	RSウイルス感染症	咽頭結膜熱	咽A群溶血性レンサ球菌	感染性胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性紅斑	突発性発しん	百日咳	ヘルパンギーナ	流行性耳下腺炎	急性出血性結膜炎	流行性角結膜炎	細菌性髄膜炎(※2)	無菌性髄膜炎	マイコプラズマ肺炎	クラミジア肺炎(※3)	感染性胃腸炎(※4)	
男女合計																				
北	37	-	-	4	4	-	1	-	-	-	-	-	-	-						
上京	31	-	-	2	7	1	-	-	-	-	-	-	-	-						
左京	100	-	-	-	61	-	-	4	-	-	-	-	-	-						
中京	33	2	-	1	17	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
東山	19	2	-	2	25	-	-	1	-	-	-	-	-	-						
山科	39	-	1	10	12	1	-	3	1	-	-	-	-	-						
下京	11	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-						
南	59	-	1	2	19	2	-	-	1	-	1	-	-	-						
右京	52	2	6	12	46	6	-	4	2	-	-	3	-	-						
伏見	61	3	4	14	66	6	-	12	4	-	1	8	-	-						
西京	51	-	-	10	91	-	-	1	-	-	-	1	-	1						
京都市計	493	9	12	57	349	16	1	25	8	-	2	12	-	1	-	-	-	-	-	-

疾病,行政区別定点当たり報告数

	インフルエンザ(※1)	RSウイルス感染症	咽頭結膜熱	咽A群溶血性レンサ球菌	感染性胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性紅斑	突発性発しん	百日咳	ヘルパンギーナ	流行性耳下腺炎	急性出血性結膜炎	流行性角結膜炎	細菌性髄膜炎(※2)	無菌性髄膜炎	マイコプラズマ肺炎	クラミジア肺炎(※3)	感染性胃腸炎(※4)	
男女合計																				
北	5.29	-	-	1.00	1.00	-	0.25	-	-	-	-	-	-	-						
上京	6.20	-	-	0.67	2.33	0.33	-	-	-	-	-	-	-	-						
左京	14.29	-	-	-	15.25	-	-	1.00	-	-	-	-	-	-						
中京	6.60	0.67	-	0.33	5.67	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
東山	6.33	1.00	-	1.00	12.50	-	-	0.50	-	-	-	-	-	-						
山科	5.57	-	0.25	2.50	3.00	0.25	-	0.75	0.25	-	-	-	-	-						
下京	3.67	-	-	-	0.50	-	-	-	-	-	-	-	-	-						
南	11.80	-	0.33	0.67	6.33	0.67	-	-	0.33	-	0.33	-	-	-						
右京	6.50	0.40	1.20	2.40	9.20	1.20	-	0.80	0.40	-	-	0.60	-	-						
伏見	5.55	0.43	0.57	2.00	9.43	0.86	-	1.71	0.57	-	0.14	1.14	-	-						
西京	7.29	-	-	2.50	22.75	-	-	0.25	-	-	-	0.25	-	1.00						
京都市計	7.25	0.22	0.29	1.39	8.51	0.39	0.02	0.61	0.20	-	0.05	0.29	-	0.10	-	-	-	-	-	-

※1 インフルエンザは、鳥インフルエンザ及び新型インフルエンザ等感染症は除くが、新型インフルエンザのうち、A/H1N1については含む。

※2 細菌性髄膜炎は髄膜炎菌、肺炎球菌、インフルエンザ菌を原因として同定された場合を除く。

※3 クラミジア肺炎はオウム病を除く。

※4 感染性胃腸炎は病原体がロタウイルスであるものに限る。

京都市感染症発生動向調査情報

集計対象:平成28年第3週

年齢階級, 疾病別報告数

平成28年1月18日～平成28年1月24日

データ入手日:平成28年1月28日

京都市	年齢1	総数	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳-	15歳-	20歳-	30歳-	40歳-	50歳-	60歳-	70歳-	80歳以上	
男女合計	年齢2	総数	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳-	15歳-	20歳-	30歳-	40歳-	50歳-	60歳-	70歳-	80歳以上	
	年齢3	総数	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳-	15歳-	20歳以上	30歳-	40歳-	50歳-	60歳-	70歳以上		
	年齢4	総数	0歳	1歳-	5歳-	10歳-	15歳-	20歳-	25歳-	30歳-	35歳-	40歳-	45歳-	50歳-	55歳-	60歳-	65歳-	70歳以上					
インフルエンザ(※1)	年齢1	493	2	6	9	7	16	26	47	49	36	19	18	41	35	37	53	35	29	16	4	8	
RSウイルス感染症	年齢3	9	2	4	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
咽頭結膜熱		12	-	1	3	1	-	2	3	1	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎		57	-	-	-	5	8	10	6	5	8	2	2	7	-	4	-	-	-	-	-	-	-
感染性胃腸炎		349	3	23	48	51	36	23	20	24	16	6	11	39	8	41	-	-	-	-	-	-	-
水痘		16	-	-	5	-	3	1	3	2	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
手足口病		1	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
伝染性紅斑		25	-	-	-	1	1	5	6	6	3	-	2	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-
突発性発しん		8	-	3	3	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
百日咳		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
ヘルパンギーナ		2	-	-	1	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
流行性耳下腺炎		12	-	1	-	-	2	4	-	1	-	1	-	1	-	2	-	-	-	-	-	-	-
急性出血性結膜炎		年齢2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
流行性角結膜炎		1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-
細菌性髄膜炎(※2)		年齢4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
無菌性髄膜炎			-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
マイコプラズマ肺炎	-		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
クラミジア肺炎(※3)	-		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
感染性胃腸炎(※4)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	

年齢階級, 疾病別定点当り報告数

京都市	年齢1	総数	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳-	15歳-	20歳-	30歳-	40歳-	50歳-	60歳-	70歳-	80歳以上
男女合計	年齢2	総数	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳-	15歳-	20歳-	30歳-	40歳-	50歳-	60歳-	70歳-	80歳以上
	年齢3	総数	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳-	15歳-	20歳以上	30歳-	40歳-	50歳-	60歳-	70歳以上	
	年齢4	総数	0歳	1歳-	5歳-	10歳-	15歳-	20歳-	25歳-	30歳-	35歳-	40歳-	45歳-	50歳-	55歳-	60歳-	65歳-	70歳以上				
インフルエンザ(※1)	年齢1	7.25	0.03	0.09	0.13	0.10	0.24	0.38	0.69	0.72	0.53	0.28	0.26	0.60	0.51	0.54	0.78	0.51	0.43	0.24	0.06	0.12
RSウイルス感染症	年齢3	0.22	0.05	0.10	0.07	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
咽頭結膜熱		0.29	-	0.02	0.07	0.02	-	0.05	0.07	0.02	-	-	-	0.02	-	-	-	-	-	-	-	-
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎		1.39	-	-	-	0.12	0.20	0.24	0.15	0.12	0.20	0.05	0.05	0.17	-	0.10	-	-	-	-	-	-
感染性胃腸炎		8.51	0.07	0.56	1.17	1.24	0.88	0.56	0.49	0.59	0.39	0.15	0.27	0.95	0.20	1.00	-	-	-	-	-	-
水痘		0.39	-	-	0.12	-	0.07	0.02	0.07	0.05	0.02	0.02	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
手足口病		0.02	-	-	0.02	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
伝染性紅斑		0.61	-	-	-	0.02	0.02	0.12	0.15	0.15	0.07	-	0.05	-	-	0.02	-	-	-	-	-	-
突発性発しん		0.20	-	0.07	0.07	0.05	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
百日咳		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
ヘルパンギーナ		0.05	-	-	0.02	-	-	-	0.02	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
流行性耳下腺炎		0.29	-	0.02	-	-	0.05	0.10	-	0.02	-	0.02	-	0.02	-	0.05	-	-	-	-	-	-
急性出血性結膜炎		年齢2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
流行性角結膜炎		0.10	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0.10	-	-	-	-
細菌性髄膜炎(※2)		年齢4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
無菌性髄膜炎			-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
マイコプラズマ肺炎	-		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
クラミジア肺炎(※3)	-		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
感染性胃腸炎(※4)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	

※1 インフルエンザは、鳥インフルエンザ及び新型インフルエンザ等感染症は除くが、新型インフルエンザのうち、A/H1N1については含む。

※2 細菌性髄膜炎は髄膜炎菌, 肺炎球菌, インフルエンザ菌を原因として同定された場合を除く。

※3 クラミジア肺炎はオウム病を除く。

※4 感染性胃腸炎は病原体がロタウイルスであるものに限る。

T3203

京都市感染症発生動向調査情報

集計対象:平成28年第3週

週, 疾病別報告数

データ入手日:平成28年1月28日

京都市 男女合計	5週前	4週前	3週前	2週前	1週前	今週
インフルエンザ ※1	14	17	26	58	148	493
RSウイルス感染症	73	51	29	31	21	9
咽頭結膜熱	14	15	3	9	12	12
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	78	78	17	55	62	57
感染性胃腸炎	372	328	119	286	255	349
水痘	25	37	10	31	15	16
手足口病	2	5	-	2	1	1
伝染性紅斑	17	29	3	28	33	25
突発性発しん	17	10	6	10	16	8
百日咳	-	-	-	-	-	-
ヘルパンギーナ	2	5	2	-	3	2
流行性耳下腺炎	22	20	6	29	25	12
急性出血性結膜炎	-	-	-	-	-	-
流行性角結膜炎	4	6	-	3	5	1
細菌性髄膜炎 ※2	-	-	-	-	-	-
無菌性髄膜炎	-	-	-	-	-	-
マイコプラズマ肺炎	-	-	-	-	-	-
クラミジア肺炎 ※3	-	-	-	-	-	-
感染性胃腸炎 ※4	-	-	-	-	-	-
合計	640	601	221	542	596	985

週, 疾病別定点当たり報告数

京都市 男女合計	5週前	4週前	3週前	2週前	1週前	今週
インフルエンザ ※1	0.21	0.25	0.38	0.85	2.18	7.25
RSウイルス感染症	1.78	1.24	0.71	0.76	0.51	0.22
咽頭結膜熱	0.34	0.37	0.07	0.22	0.29	0.29
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	1.90	1.90	0.41	1.34	1.51	1.39
感染性胃腸炎	9.07	8.00	2.90	6.98	6.22	8.51
水痘	0.61	0.90	0.24	0.76	0.37	0.39
手足口病	0.05	0.12	-	0.05	0.02	0.02
伝染性紅斑	0.41	0.71	0.07	0.68	0.80	0.61
突発性発しん	0.41	0.24	0.15	0.24	0.39	0.20
百日咳	-	-	-	-	-	-
ヘルパンギーナ	0.05	0.12	0.05	-	0.07	0.05
流行性耳下腺炎	0.54	0.49	0.15	0.71	0.61	0.29
急性出血性結膜炎	-	-	-	-	-	-
流行性角結膜炎	0.40	0.60	-	0.30	0.50	0.10
細菌性髄膜炎 ※2	-	-	-	-	-	-
無菌性髄膜炎	-	-	-	-	-	-
マイコプラズマ肺炎	-	-	-	-	-	-
クラミジア肺炎 ※3	-	-	-	-	-	-
感染性胃腸炎 ※4	-	-	-	-	-	-
合計	15.78	14.95	5.14	12.88	13.48	19.33

※1 インフルエンザは、鳥インフルエンザ及び新型インフルエンザ等感染症は除くが、新型インフルエンザのうち、A/H1N1については含む。

※2 細菌性髄膜炎は髄膜炎菌、肺炎球菌、インフルエンザ菌を原因として同定された場合を除く。

※3 クラミジア肺炎はオウム病を除く。

※4 感染性胃腸炎は病原体がロタウイルスであるものに限る。